

VMware View アップグレード ガイド

View 4.0
View Manager 4.0
View Composer 2.0

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、
ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサ
ポートします。このドキュメントの最新版をチェックする
には、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を
参照してください。

JA-000246-04

vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/pubs/>) にあります。VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2010 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴァイムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

- 本書について 5
- 1 VMware View コンポーネントの互換性マトリックス 7
- 2 アップグレードのシステム要件 9
 - View Connection Server の要件 9
 - View Connection Server のハードウェア要件 9
 - View Connection Server でサポートされるオペレーティング システム 10
 - View Connection Server のアップグレード要件 10
 - View Connection Server に必要な追加ソフトウェア 10
 - View Composer の要件 11
 - View Composer のアップグレード要件 11
 - View Composer のデータベース要件 11
 - View Administrator の要件 12
 - View Client の要件 13
 - View Agent でサポートされるオペレーティング システム 13
- 3 VMware View のアップグレードの準備 15
 - アップグレードのための View Connection Server の準備 15
 - アップグレードのための vCenter Server および View Composer の準備 16
- 4 VMware View コンポーネントのアップグレード 19
 - レプリカ グループ内の View Connection Server のアップグレード 19
 - View Composer および VirtualCenter のアップグレード 21
 - ESX ホスト、仮想マシン、および View Agent のアップグレード 23
 - View Composer デスクトップ プールのアップグレード 25
 - View Client のアップグレード 26
- 5 vSphere コンポーネントの個別のアップグレード 27
- インデックス 29

本書について

『VMware View アップグレード ガイド』では、VMware® View 3.x から View 4.0 へのアップグレード手順について説明します。また、VMware Infrastructure 3 から vSphere 4 Update 1 へのアップグレードも実行する場合に VMware View のアップグレードの様々な段階で実行する手順についても説明しています。

対象読者

このガイドは、VMware View 3.x から 4.0 にアップグレードする必要があるすべての方を対象としています。このガイドに記載されている情報は、仮想マシンのテクノロジーとデータセンターの操作に精通した、経験豊富な Microsoft Windows または Linux システム管理者向けに書かれています。

本書へのフィードバック

VMware では、ドキュメント改善の参考にさせて頂くためにお客様さまからのご意見をお待ちしています。本マニュアルに関するコメントがございましたら、docfeedback@vmware.com までフィードバックをお寄せください。

テクニカル サポートおよびエデュケーション リソース

ここでは、お客様にご利用いただけるテクニカル サポート リソースを紹介します。本書およびその他の本の最新版を入手するには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> をご覧ください。

オンラインおよび電話サポート

オンライン サポートを使用して、テクニカル サポート要求の送信、製品および契約情報の閲覧、および製品の登録を行うには、<http://www.vmware.com/jp/support> をご覧ください。

該当するサポート契約を結んでいるお客様の場合、迅速な対応が必要な Severity 1 の問題に関しては電話でのサポートをご利用ください。

http://www.vmware.com/support/phone_support.html をご覧ください。

サポート サービス

当社のサポート サービスがお客様のビジネス ニーズにどのように対応できるかについては、<http://www.vmware.com/jp/support/services> をご覧ください。

VMware プロフェッショナル サービス

VMware エデュケーション サービスのコースでは、広範なハンズオンラボや事例の紹介をいたします。また、業務の際のリファレンスとしてお使いいただける資料も提供しています。コースはオンサイト、教室、およびオンラインで受講できます。VMware コンサルティング サービスでは、オンサイトのパイロット プログラムおよび導入のベストプラクティスのために、仮想環境の評価、計画、構築、および管理を支援するサービスが提供されます。エデュケーション クラス、認定プログラム、およびコンサルティング サービスに関する情報を入手するには、<http://www.vmware.com/jp/services> をご覧ください。

VMware View コンポーネントの互換性マトリックス

1

大企業ではアップグレードを段階的に実行する必要がある場合が多いため、VMware View コンポーネントは上位互換性と下位互換性が維持されるように設計されています。VMware View 4.0 コンポーネントには、ほとんどの VMware View 3.0.x および 3.1.x コンポーネントとの互換性があります。

コンポーネント間には上位互換性と下位互換性がありますが、View Connection Server と View Agent との互換性は、View Connection Server のアップグレード中またはダウングレード中の相互運用性に限定されます。View Agent を管理する View Connection Server のバージョンに合わせて、できるだけ早く View Agent をアップグレードする必要があります。

表 1-1 に、VMware View のコンポーネントの一覧と、バージョンの異なる他のコンポーネントに対するそれぞれの互換性を示します。VMware Infrastructure および vSphere との互換性については、「[View Connection Server に必要な追加ソフトウェア \(P. 10\)](#)」を参照してください。

表 1-1. VMware View コンポーネントの互換性マトリックス

	View 3 コンポーネント					
	Connection Server 3.x	View Agent 3.x	View Client 3.x	Thin Client 3.x	Web Portal 3.x	View Composer 1.0
View 4						
Connection Server 4.0	N/A	はい	はい	はい	N/A	いいえ*
View Agent 4.0	はい	N/A	はい	はい	はい	はい
View Client 4.0	はい	はい	N/A	N/A	はい	はい
Thin Client 4.0	はい	はい	N/A	N/A	はい	はい
Web Portal 4.0	N/A	はい	はい	はい	N/A	はい
View Composer 2.0	はい	いいえ	N/A	N/A	N/A	N/A

* View Connection Server と View Composer の両方がアップグレードされるまで、View Composer の操作は機能しません。View Connection Server 4.0 と View Composer 1.0 がある場合、ユーザーは各自のデスクトップに接続できますが、新しいリンク クローン デスクトップは作成できず、再構成、再分散、および更新の操作は機能しません。

View Composer 2.0 は View Connection Server 3.x と連携できますが、このセットアップは同じ保守期間内にすべての View Connection Server インスタンスをアップグレードできない場合にのみ使用できます。

アップグレードのシステム要件

VMware View の展開に含めるホストおよび仮想マシンは、特定のハードウェア要件およびオペレーティングシステム要件を満たしている必要があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [View Connection Server の要件 \(P. 9\)](#)
- [View Composer の要件 \(P. 11\)](#)
- [View Administrator の要件 \(P. 12\)](#)
- [View Client の要件 \(P. 13\)](#)
- [View Agent でサポートされるオペレーティングシステム \(P. 13\)](#)

View Connection Server の要件

View Connection Server はクライアント接続のブローカーとして機能し、受信したユーザーの要求を認証した後、適切な View デスクトップにダイレクトします。View Connection Server には、特定のハードウェア要件およびオペレーティングシステム要件があります。

View Connection Server のハードウェア要件

View Connection Server 4.0 は、特定のハードウェア要件を満たす 32 ビットまたは 64 ビットの専用の物理マシンまたは仮想マシンで実行する必要があります。

表 2-1. View Connection Server のハードウェア要件

ハードウェア コンポーネント	必須	推奨
プロセッサ	Pentium IV 2.0GHz以上のプロセッサ	デュアル プロセッサ
メモリ	2GB 以上の RAM	50 以上の View デスクトップを展開する場合は 3GB の RAM
ネットワーク	1つ以上の 10/100Mbps ネットワーク インターフェイス カード (NIC)	1Gbps NIC

上記の要件は、可用性を高めるためにインストールする追加の View Connection Server インスタンスと、外部アクセスのためにインストールするセキュリティ サーバにも適用されます。

View Connection Server でサポートされるオペレーティング システム

View Connection Server 4.0 は、サポートされるサービス パックを適用した、Windows Server 2003 で実行する必要があります。

View Connection Server は、次に示す Windows Server 2003 の 32 ビットバージョンでサポートされます。

- R2 Standard Edition SP2
- Standard Edition SP2
- 2003 R2 Enterprise Edition SP2
- Enterprise Edition SP2

View Connection Server のアップグレード要件

View Connection Server のアップグレード処理には、特定の要件および制限事項があります。

- View Connection Server には View 4.0 の有効なライセンス キーが必要です。使用可能なライセンス キーには、View Manager、View Composer を備えた View Manager、View Composer および Offline Desktop を備えた View Manager が含まれます。VMware View 4 のライセンス キーは 25 文字のキーです。
- View Connection Server の新しいバージョンのインストールに使用するドメイン ユーザー アカウントは、View Connection Server ホスト上での管理者権限を持っている必要があります。View Connection Server の管理者は、vCenter Server の管理者認証情報を持っている必要があります。

追加の物理マシンまたは仮想マシン上で View Connection Server インスタンスの新規インストールを実行する計画がある場合は、『View Manager 管理ガイド』でインストール要件の完全なリストを参照してください。

View Connection Server に必要な追加ソフトウェア

View Connection Server が正常に機能するためには、追加のソフトウェアが必要です。

- vSphere を使用する場合は、vSphere 4 Update 1 が必要です。1 つ以上の ESX サーバと 1 つ以上の vCenter Server を使用する必要があります。
- VMware Infrastructure を使用する場合は、VMware Infrastructure 3.0.2 (サポート) または 3.5 (推奨) が必要です。View Composer または View Client with Offline Desktop を使用する場合は、VMware Infrastructure 3.5 Update 3 または Update 4 と、対応する VirtualCenter 2.5 Update 3 または Update 4 が必要です。Update 5 はサポートされません。1 つ以上の ESX Server 3.5 Update 3 または 4 と 1 つ以上の VirtualCenter Server 2.5 Update 3 または 4 が必要です。
- View Connection Server は、RSA Authentication Manager バージョン 6.1 および 7.1 とともに認証されています。バージョン 6.1 と互換性のある RSA Authentication Manager のその他のバージョンもサポートされています。
- View Manager は、ユーザーを認証および管理するために既存の Active Directory インフラストラクチャを利用します。次のバージョンの Active Directory がサポートされています。Windows 2000 Active Directory、Windows 2003 Active Directory、および Windows 2008 Active Directory。

View Composer の要件

View Manager では、中央で管理される 1 つの基本イメージから複数のリンク クローン デスクトップを展開するために View Composer を使用します。View Composer には特定のアップグレード要件およびデータベース要件があります。

View Composer のアップグレード要件

View Composer のアップグレード処理には、特定の要件および制限事項があります。

- VMware Infrastructure を使用している場合は、View Composer を使用するために VMware Infrastructure 3.5 Update 3 または Update 4 が必要です。Update 5 はサポートされません。
- View Composer は vCenter Server または VirtualCenter Server と同じシステム上にインストールする必要があります。View Composer は、vCenter Server 4.0 Update 1 および VirtualCenter Server 2.5 Update 3 または Update 4 と互換性があります。
- View Composer は、Windows Server 2003 Service Pack 2 または Windows XP Professional Service Pack 2 の 32 ビットバージョンでサポートされます。

View Composer のデータベース要件

View Composer には、データを格納するための SQL データベースが必要です。View Composer データベースは、vCenter Server マシン上に存在するか、vCenter Server マシンから利用できる必要があります。

vCenter Server 用のデータベースがすでに存在する場合は、View Composer で既存のデータベースを使用できます。たとえば、vCenter Server とともに提供される Microsoft SQL Server 2005 Express インスタンスを View Composer で使用できます。

重要 vCenter Server 4 にアップグレードする場合は、『vSphere アップグレード ガイド』に記載されているデータベースのシステム要件を参照してください。VirtualCenter Server でサポートされていたデータベースの一部は、サポートされなくなりました。これに該当する場合は、View Composer および VirtualCenter Server をアップグレードする前にデータベースをアップグレードする必要があります。

表 2-2 で、サポートされる各データベースの要件について説明しています。

表 2-2. View Composer でサポートされるデータベース

データベース	要件	vCenter Server 4 U1 との互換性
Microsoft SQL Server 2000 Standard SP4	Windows XP の場合は MDAC 2.8 SP1 をクライアントに適用します。クライアントには SQL Server のドライバを使用します。	いいえ
Microsoft SQL Server 2000 Enterprise SP4	Windows XP の場合は MDAC 2.8 SP1 をクライアントに適用します。クライアントには SQL Server のドライバを使用します。	いいえ
Microsoft SQL Server 2005 Standard SP1/SP2	Windows XP の場合は MDAC 2.8 SP1 をクライアントに適用します。クライアントには SQL ネイティブクライアントのドライバを使用します。	はい
Microsoft SQL Server 2005 Enterprise SP1/SP2	Windows XP の場合は MDAC 2.8 SP1 をクライアントに適用します。クライアントには SQL ネイティブクライアントのドライバを使用します。	はい

表 2-2. View Composer でサポートされるデータベース (続き)

データベース	要件	vCenter Server 4 U1 との互換性
Microsoft SQL Server 2005 Express	Windows XP の場合は MDAC 2.8 SP1 をクライアントに適用します。クライアントには SQL ネイティブクライアントのドライバを使用します。	はい
Microsoft SQL Server 2005 Standard Edition 64 ビット SP2	N/A	はい
Microsoft SQL Server 2005 Enterprise Edition 64 ビット SP2	N/A	はい
Oracle 9i release 2 Standard (9.2.0.8)		いいえ
Oracle 9i release 2 Enterprise (9.2.0.8)		いいえ
Oracle 10g Standard Release 2 (10.2.0.1.0)	まずクライアントおよびサーバにパッチ 10.2.0.3.0 を適用し、その後パッチ 5699495 をクライアントに適用します。	はい (パッチ適用後)
Oracle 10g Enterprise Release 2 (10.2.0.1.0)	まずクライアントおよびサーバにパッチ 10.2.0.3.0 を適用し、その後パッチ 5699495 をクライアントに適用します。	はい (パッチ適用後)
Oracle 10g Standard Release 1 (10.1.0.3.0)		いいえ
Oracle 10g Enterprise Release 1 (10.1.0.3.0)		いいえ
Oracle 10g Enterprise Edition Release 2 (10.2.0.3.0) 64 ビット	N/A	はい
Oracle 10g Enterprise Edition Release 2 (10.2.0.1.0) 64 ビット	まずクライアントにパッチ 10.2.0.3.0 を適用し、その後パッチ 5699495 をクライアントに適用します。	はい (パッチ適用後)
Oracle 11g Standard Edition	VirtualCenter Server 2.5 との互換性なし	はい
Oracle 11g Enterprise Edition	VirtualCenter Server 2.5 との互換性なし	はい

View Administrator の要件

管理者は、View Administrator を使って View Connection Server の設定、デスクトップの展開と管理、ユーザー認証の制御、システム イベントの開始と調査、および分析作業を実行します。View Administrator を実行するクライアントシステムは、特定の要件を満たす必要があります。

View Administrator は Web ベースのアプリケーションです。View Administrator 4.0 は次の Web ブラウザで使用できます。

- Internet Explorer 7
- Internet Explorer 8
- Firefox 3.0
- Firefox 3.5

View Client の要件

View Client と View Client with Offline Desktop 4.0 は、サポートされるサービス パックを適用した、サポートされるオペレーティング システムで実行する必要があります。

表 2-3 に、View Client でサポートされる 32 ビット オペレーティング システムを示します。

表 2-3. View Client の 32 ビット オペレーティング システムのサポート

オペレーティング システム	エディション	サービス パック
Windows 2000	Professional	SP4
Windows XP	Professional および Home	SP2 および SP3
Windows XPe	N/A	N/A
Windows Vista	Business および Ultimate	SP1 および SP2
Windows Vista	Enterprise および Home	SP2
Windows 7 (技術評価版)	N/A	N/A

View Client with Offline Desktop は、Windows XP Professional SP2 および SP3 でのみサポートされます。

次のクライアント ハードウェア要件は、現在 View 4.0 で利用できる PCoIP 表示プロトコルを使用した場合にのみ必要になります。

- 800Mhz 以上のプロセッサ処理速度
- SSE2 拡張命令を備えた x86 ベースのプロセッサ

View Agent でサポートされるオペレーティング システム

View Agent コンポーネントは、セッション管理、シングルサインオン、およびデバイスのリダイレクトに役立ちます。View Agent 4.0 は、サポートされるサービス パックを適用した、サポートされるオペレーティング システムで実行する必要があります。

表 2-4 に、View Agent でサポートされる 32 ビット オペレーティング システムを示します。これらのシステムは、仮想システムでも物理システムでもサポートされます。

表 2-4. View Agent の 32 ビット オペレーティング システムのサポート

オペレーティング システム	エディション	サービス パック
Windows XP	Professional	SP2 および SP3
Windows Vista	Business、Enterprise、および Ultimate	SP1 および SP2
Windows 2003 R2 Terminal Server	Enterprise	SP2
Windows 2003 Terminal Server	Enterprise	SP2
Windows 7 (技術評価版)	N/A	N/A

VMware View のアップグレードの準備

アップグレード処理を開始する前に、新しいバージョンのシステム要件の確認、データベースのバックアップ、サーバコンポーネントをホストしている仮想マシンのスナップショットの作成、および構成設定の記録を行う必要があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [アップグレードのための View Connection Server の準備 \(P. 15\)](#)
- [アップグレードのための vCenter Server および View Composer の準備 \(P. 16\)](#)

アップグレードのための View Connection Server の準備

View Connection Server をアップグレードする場合、または View Connection Server が依存する vSphere コンポーネントのいずれかをアップグレードする場合は、正常にアップグレードできるよう事前にいくつかの作業を実行する必要があります。

- 現在の View Connection Server インスタンスがインストールされている仮想マシンまたは物理マシンが、View 4 のシステム要件を満たしていることを確認します。

[\[View Connection Server の要件 \(P. 9\)\]](#) を参照してください。

- View Connection Server が仮想マシンにインストールされている場合は、その仮想マシンのスナップショットを作成します。

スナップショットの作成手順については、vSphere Client のオンライン ヘルプを参照してください。

このスナップショットに「アップグレード準備作業」などのラベルを付けます。

- View Administrator を開き、[Desktops and Pools (デスクトップとプール)] ビューの設定と [Configuration (構成)] ビューの [Global Settings (グローバル設定)] セクションの設定をすべて記録します。

たとえば、該当する設定のスクリーンショットを撮ります。レプリカ グループ内に View Connection Server インスタンスが複数存在する場合は、1 つのインスタンスの設定を記録するだけでかまいません。

- `vdmexport.exe` ユーティリティを使用して View LDAP データベースをバックアップします。

手順については、View 3 の『View Manager 管理ガイド』を参照してください。レプリカ グループ内に View Connection Server インスタンスが複数存在する場合は、1 つのインスタンスからデータをエクスポートするだけでかまいません。

- View Connection Server がインストールされているマシンの IP アドレスおよびシステム名を記録します。
- View Connection Server 上の View データベースに対して実行されるバッチ ファイルまたはスクリプトが社内で作成されているかどうかを確認し、作成されている場合はその名前と場所を記録します。
- View Connection Server にロード バランサを使用する場合は、ロード バランサの構成設定を記録します。

アップグレードのための vCenter Server および View Composer の準備

VirtualCenter Server と View Composer は同じ仮想マシンまたは物理マシンにインストールされるため、一部の準備作業は両方に当てはまります。

vSphere を含むアップグレード

View Composer 2 を備えた VMware View 4 のアップグレードに加え、vCenter Server 4 Update 1 にもアップグレードする場合は、『vSphere アップグレード ガイド』を参照して、次の作業を以下の順序で実行する必要があります。

- 1 仮想マシンまたは物理マシンが vCenter Server 4 Update 1 のシステム要件を満たしていることを確認します。
たとえば、vCenter Server には 2 個の CPU が必要です。
- 2 VirtualCenter Server が仮想マシンにインストールされている場合は、その仮想マシンのスナップショットを作成します。
スナップショットの作成手順については、vSphere Client のオンライン ヘルプを参照してください。
- 3 コンピュータ名が 15 文字より長い場合は、15 文字以下の短い名前に変更します。
- 4 VirtualCenter データベースと View Composer データベースをバックアップします。
- 5 データベース サーバに vCenter Server 4 との互換性があることを確認します。
たとえば、データベース サーバが Oracle 9i の場合、Oracle 10g または 11g にアップグレードする必要があります。
- 6 必要に応じて SSL 証明書をバックアップします。
- 7 vCenter Server がインストールされているマシンの IP アドレスおよびシステム名を記録します。
- 8 すべてのリンク クローン デスクトップ プールについて、新しい仮想マシンのプロビジョニングを無効にします。
View Composer とそのデスクトップ プールとは異なる保守期間にアップグレードされる場合があるため、両方のコンポーネントがアップグレードされるまでプロビジョニングを延期する必要があります。
- 9 いずれかのデスクトップ プールがログオフ時に OS ディスクを更新するように設定されている場合は、そのプールの [Desktop/Pool (デスクトップ/プール)] 設定を編集して、[Refresh OS disk on logoff (ログオフ時に OS ディスクを更新)] を [Never (更新しない)] に設定します。
この設定を行うと、まだ View Agent 4 にアップグレードされていないデスクトップの更新を新しくアップグレードされた View Composer が試みても、エラーが発生しません。
- 10 いずれかのデスクトップ プールに更新または再構成の操作のスケジュールが設定されている場合は、それらの操作をキャンセルします。

View Composer のみのアップグレード

View Composer のみをアップグレードして、VirtualCenter Server をアップグレードしない場合は、次の作業を実行する必要があります。

- 1 View Composer が仮想マシンにインストールされている場合は、その仮想マシンのスナップショットを作成します。
スナップショットの作成手順については、vSphere Client のオンライン ヘルプを参照してください。
- 2 VirtualCenter データベースと View Composer データベースをバックアップします。
- 3 必要に応じて SSL 証明書をバックアップします。
- 4 vCenter Server がインストールされているマシンの IP アドレスおよびシステム名を記録します。
- 5 すべてのリンク クローン デスクトップ プールについて、新しい仮想マシンのプロビジョニングを無効にします。
View Composer とそのデスクトップ プールとは異なる保守期間にアップグレードされる場合があるため、両方のコンポーネントがアップグレードされるまでプロビジョニングを延期する必要があります。

- 6 いずれかのデスクトップ プールがログオフ時に OS ディスクを更新するように設定されている場合は、そのプールの [Desktop/ Pools (デスクトップ/ プール)] 設定を編集して、 [Refresh OS disk on logoff (ログオフ時に OS ディスクを更新)] を [Never (更新しない)] に設定します。

この設定を行うと、まだ View Agent 4 にアップグレードされていないデスクトップの更新を新しくアップグレードされた View Composer が試みても、エラーが発生しません。

- 7 いずれかのデスクトップ プールに更新または再構成の操作のスケジュールが設定されている場合は、それらの操作をキャンセルします。

VMware View コンポーネントのアップグレード

4

アップグレードする必要がある VMware View コンポーネントとしては、View Connection Server、View Client、および View Agent があります。使用しているオプション コンポーネントによっては、View Composer、vCenter Server、ESX ホスト、および ESX ホスト上の仮想マシンのアップグレードも必要となる場合があります。

View の展開のサイズによっては、アップグレード処理を複数の保守期間にわたって段階的に実行する場合があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [レプリカ グループ内の View Connection Server のアップグレード \(P. 19\)](#)
- [View Composer および VirtualCenter のアップグレード \(P. 21\)](#)
- [ESX ホスト、仮想マシン、および View Agent のアップグレード \(P. 23\)](#)
- [View Composer デスクトップ プールのアップグレード \(P. 25\)](#)
- [View Client のアップグレード \(P. 26\)](#)

レプリカ グループ内の View Connection Server のアップグレード

アップグレード作業を複数の保守期間に分散すると、処理の各段階で成功を確認したり、問題を発見したりすることができます。最初の保守期間には、View LDAP データベースを複製するグループ内のすべての View Connection Server インスタンスをアップグレードします。

VMware View 4 の新機能を使用する場合、または View 4 を vSphere 4 とともに使用する場合は、VMware View 4 をアップグレードする必要があります。View 4 に導入された新機能の一覧については、リリース ノートを参照してください。

開始する前に

- この手順をいつ実行すべきかを判断します。利用可能なデスクトップ保守期間を選択します。このアップグレードにかかる時間は、グループ内の View Connection Server インスタンスの数によって決まります。1 インスタンスにつき 15 ~ 30 分を予定してください。
- [「アップグレードのための View Connection Server の準備 \(P. 15\)」](#) に一覧表示されている作業を実行します。
- VMware View 4 のライセンスがあることを確認します。View 4 では新しいライセンス モデルが採用されています。ライセンス キーは 25 文字で構成されます。アップグレードの購入が不要だった場合でも、View 4 のライセンス キーを使用する必要があります。
- インストーラを実行してアップグレードを行うために使用するホスト上に管理者権限のあるドメイン ユーザー アカウントを持っていることを確認します。

- **vdmexport.exe** ユーティリティについて詳しくない場合は、View 3 の『View Manager 管理ガイド』に記載されているこのユーティリティの使用手順を印刷してください。このユーティリティは、アップグレード手順の一環として View LDAP データベースをバックアップするために使用します。
- View Connection Server 上の GPO テンプレートの場所を思い出せない場合は、『View Manager 管理ガイド』のグループ ポリシー オブジェクトに関するセクションを参照してください。アップグレード手順の一環として、GPO テンプレートをコピーする必要があります。

既存のロード バランサの構成を変更する必要はありません。

手順

- 1 グループ内のすべての View Connection Server インスタンス上で、VMware View Connection Server というサービスを停止します。

同じグループ内の他のインスタンスが実行されている間に View Connection Server インスタンスをアップグレードすると、View LDAP データベースが破損するおそれがあります。

VMwareVDMDS サービスは停止しないでください。View LDAP データベースをアップグレードできるように、VMwareVDMDS サービスが実行されている必要があります。
- 2 グループ内の標準サーバインスタンス、つまり最初のサーバインスタンスである View Connection Server インスタンスのホスト上で、VMware View 4 Connection Server のインストーラを実行します。

旧バージョンが既にインストールされているかどうかインストーラによって判別され、アップグレードが実行されます。新規インストールの場合は、インストーラに表示されるインストール オプションの数が少なくなります。

View LDAP もアップグレードされます。
- 3 インストーラ ウィザードが閉じた後、VMware View Connection Server サービスが再起動したことを確認します。
- 4 View Connection Server にログインできることを確認し、View Administrator で [About (バージョン情報)] をクリックして、新しいバージョンが使用されていることを確認します。
- 5 [Configuration (構成)] をクリックして構成ビューを表示し、製品ライセンス テーブルで [Edit License (ライセンスの編集)] をクリックして、View Manager ライセンス キーを入力し、[OK] をクリックします。
- 6 View デスクトップにログインできることを確認します。
- 7 再度 View Connection Server サービスを停止します。
- 8 [手順 1](#) から [手順 7](#) までを繰り返して、グループ内の各 View Connection Server インスタンスをアップグレードします。
- 9 グループ内のすべてのサーバがアップグレードされた後、すべてのサーバ上で View Connection Server サービスを開始します。
- 10 **vdmexport.exe** ユーティリティを使用して、新しくアップグレードされた View LDAP データベースをバックアップします。

レプリカ グループ内に View Connection Server インスタンスが複数存在する場合は、1 つのインスタンスからデータをエクスポートするだけでかまいません。
- 11 アップグレードした View Connection Server インスタンスのいずれかで、GPO テンプレートをコピーし、Active Directory にロードします。
- 12 このグループ内の View Connection Server インスタンスに接続されているセキュリティ サーバをアップグレードします。

セキュリティ サーバごとに、[手順 1](#) から [手順 7](#) までを繰り返します。

View Connection Server インスタンスはアップグレードされ、既存の View 3.0 または 3.1 View Client、および View 3.0 または 3.1 View Agent がインストールされているデスクトップ ソースとの下位互換性が確保されています。

次に進む前に

残りの View サーバ コンポーネントをアップグレードします。[「View Composer および VirtualCenter のアップグレード \(P. 21\)」](#) を参照してください。

View Composer および VirtualCenter のアップグレード

最初の保守期間中に、View Connection Server をアップグレードした後、同じ仮想マシンまたは物理マシン上でホストされている View Composer および VirtualCenter もアップグレードできます。

ここでは、最初の保守期間中に実行する作業の概要と、各手順のクロス リファレンスを示します。vSphere 4 へのアップグレードは必須ではないため、vCenter Server に関連する手順はオプションとして示されています。

開始する前に

- この手順をいつ実行すべきかを判断します。利用可能なデスクトップ保守期間を選択します。所要時間については、『vSphere アップグレード ガイド』を参照してください。
- [「アップグレードのための vCenter Server および View Composer の準備 \(P. 16\)」](#) に一覧表示されている作業を実行します。
- VMware View 4 のライセンスがあることを確認します。View 4 では新しいライセンス モデルが採用されています。ライセンス キーは 25 文字で構成されます。アップグレードの購入が不要だった場合でも、View 4 のライセンス キーを使用する必要があります。
- インストーラを実行してアップグレードを行うために使用するホスト上に管理者権限のあるドメイン ユーザー アカウントを持っていることを確認します。
- Virtual Infrastructure コンポーネントを vSphere にアップグレードする場合は、vSphere の適切なライセンス キーがあることを確認します。

手順

- 1 View Composer を使用する場合は、View Composer インスタンスをアップグレードします。
 - a View Composer がインストールされている仮想マシンまたは物理マシン上で、View Composer 2.0 のインストーラをダウンロードして実行します。View Composer 2.0 は VMware View 4 に付属するバージョンです。インストーラは VMware の Web サイトからダウンロードできます。
 - b View Composer 1.0 からアップグレードする場合は、ウィザードを使用してデータベースをアップグレードするかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、ウィザードを使用してデータベースをアップグレードするように応答します。

View Composer 1.1 からアップグレードする場合は、データベーススキーマのアップグレードが不要なため、プロンプトは表示されません。

「Database upgrade completed with warnings(データベースのアップグレードが警告で終了しました)」というメッセージを含むダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックしてメッセージを無視してかまいません。
 - c ウィザードで View Composer のポート番号を要求されたら、ポート番号が **18443** に設定されていることを確認します。

vCenter Server 4 にはポート 8443 が必要なため、アップグレードを実行するとポート番号が以前の **8443** から **18443** に変更されます。
- 2 View Connection Server をホストしているマシンで、View Administrator にログインし、View Composer に使用されるポート番号を変更します。
 - a vCenter Server の構成を編集して、View Composer のポートを **18443** に変更します。

このポート番号は、View Composer のアップグレード中に指定されるポート番号と一致している必要があります。
 - b vCenter Server のパスワードを入力します。
 - c [Enable View Composer (View Composer の有効化)] チェックボックスを選択し、[OK] をクリックします。
- 3 View Composer を使用する場合は、親仮想マシン上で View Agent をアップグレードし、テスト用のデスクトッププールを作成します。
 - a 親仮想マシン上で View 4 View Agent のインストーラをダウンロードして実行します。

インストーラは VMware の Web サイトからダウンロードできます。仮想マシンが Windows XP Professional SP 2 または 3、あるいは Windows Vista SP 1 または 2 を実行しており、VMware PCoIP 表示プロトコルを使用する場合、インストーラを実行するときにそのコンポーネントを選択します。
 - b この仮想マシンから、小さなリンク クローン デスクトップ プールを作成します。
 - c 作成したデスクトップ プールから仮想デスクトップをテストして、あらゆる使用方法のシナリオが正常に機能することを確認します。たとえば、1 つの仮想デスクトップを含むデスクトップ プールを作成し、View Client を使用してそのデスクトップにログインできることを確認します。

この時点ではまだ、他のデスクトップソース上で View Agent をアップグレードしないでください。
- 4 (オプション) VirtualCenter Server インスタンスを vCenter Server の vSphere 4 Update 1 バージョンにアップグレードします。

手順については、『vSphere アップグレード ガイド』を参照してください。
- 5 (オプション) VirtualCenter Server をアップグレードする場合は、アップグレードが完了したら、View Composer サービスを再起動します。
- 6 テスト デスクトップ プール内の仮想デスクトップが期待どおりに機能することを確認します。

View Composer および vCenter Server インスタンスはアップグレードされます。既存の View 3.0 または 3.1 View Client、および View 4 Agent がインストールされているデスクトップソースとの下位互換性が確保されています。

次に進む前に

vCenter Server をアップグレードした場合は、『vSphere アップグレード ガイド』の説明に従って、アップグレード後の作業を実行します。

次の保守期間に、VMware View のアップグレードを続行します。[ESX ホスト、仮想マシン、および View Agent のアップグレード (P. 23)] を参照してください。

ESX ホスト、仮想マシン、および View Agent のアップグレード

ESX ホストおよび仮想マシンを vSphere にアップグレードする作業は、VMware View アップグレードのこの中間段階で最も時間のかかる部分です。

ここでは、第 2 および後続の保守期間中に実行する作業の概要と、各手順のクロス リファレンスを示します。vSphere 4 へのアップグレードは必須ではないため、vCenter Server に関連する手順はオプションとして示されています。

開始する前に

次の準備作業を実行します。

- [View Composer および VirtualCenter のアップグレード (P. 21)] で説明した手順を実行します。
- 『vSphere アップグレード ガイド』に一覧表示されている ESX の準備作業を実行します。
- VMware View 4 のライセンスがあることを確認します。View 4 では新しいライセンス モデルが採用されています。ライセンス キーは 25 文字で構成されます。アップグレードの購入が不要だった場合でも、View 4 のライセンス キーを使用する必要があります。
- Virtual Infrastructure コンポーネントを vSphere にアップグレードする場合は、vSphere の適切なライセンス キーがあることを確認します。
- インストーラを実行してアップグレードを行うために使用するホスト上に管理者権限のあるドメイン ユーザー アカウントを持っていることを確認します。
- すべての ESX ホストがクラスタのメンバーであることを確認します。スタンドアロンの ESX ホストをアップグレードする場合、単一ホストのクラスタに配置します。ESX ホストがクラスタ内にはない場合は、View Composer に対して vSphere モードを有効にできないことがあります。

手順

- 1 (オプション) ESX ホストを 1 クラスタずつ vSphere 4 にアップグレードします。

手順については、『vSphere アップグレード ガイド』を参照してください。クラスタが多数ある場合は、この手順を完了するために複数の保守期間が必要となることがあります。ESX ホストのアップグレードでは、次の作業を実行します。

- a VMotion を使用して、仮想マシンを ESX ホストの外に移動します。
- b ESX ホストを保守モードにします。
- c ESX のアップグレードを実行します。
- d VMotion を使用して、仮想マシンを ESX ホスト上に戻します。
- e ESX ホストのアップグレード後の作業を実行します。

前提条件で示したように、すべての ESX ホストはクラスタのメンバーである必要があります。

- 2 (オプション) アップグレードした ESX ホストが自動的に vCenter に接続されない場合は、vSphere Client を使用して ESX ホストを vCenter Server に再接続します。
- 3 すべての ESX ホストをアップグレードした後、vCenter Server ホストで View Composer サービスを再起動します。

- 4 (オプション) View Composer を使用する場合は、vSphere モードをオンにします。
- vSphere によって新しい API が使用され、パフォーマンスの向上が達成されます。
- クラスタ内のすべての ESX ホストで vSphere 4 Update 1 が実行されていることを確認します。
 - View Connection Server にログインし、[Use vSphere mode for View Composer (View Composer に vSphere モードを使用)] というデスクトップ プール設定をオンにします。
手順については、『View Manager 管理ガイド』を参照してください。
 - View Composer のアップグレード中に作成した、View 4 Agent がインストールされた親仮想マシンを使用して、別のテスト デスクトップ プールを作成し、vSphere モードが使用されていることを確認します。
この新しいテスト デスクトップ プールでは、新しい View Composer API が使用されるため、レプリカからソース リンク クローンが作成されません。vCenter Server を使用して仮想マシンの作成を監視すると、レプリカが **source-lc** 仮想マシンではなく親から作成されることがわかります。
- 5 すべての親仮想マシン上の VMware Tools、仮想ハードウェア、および View Agent と、仮想マシン テンプレート、および View Connection Server インスタンスなどの View サーバ コンポーネントをホストしている仮想マシンをアップグレードします。
- 『vSphere アップグレード ガイド』の説明に従って、ダウンタイムの計画を立てます。
各仮想マシンを 3 回ずつ再起動する必要があります。
 - (オプション) VMware Tools をアップデートし、仮想マシンのハードウェアをバージョン 7 にアップグレードします。
vSphere Update Manager を使用すると、特定のフォルダ内にあるすべての仮想マシンで、VMware Tools の次に仮想マシンのハードウェアバージョンという正しい順序でアップデートを実行できます。『vSphere アップグレード ガイド』を参照してください。
 - 親仮想マシンおよび仮想マシン テンプレート上で、View Agent 4 のインストーラをダウンロードして実行します。
インストーラは VMware の Web サイトからダウンロードできます。仮想マシンが Windows XP Professional SP 2 または 3、あるいは Windows Vista SP 1 または 2 を実行しており、VMware PCoIP 表示プロトコルを使用する場合、View Agent インストーラを実行するときにそのコンポーネントを選択します。
 - アップグレードした親仮想マシンごとにスナップショットを作成します。これは、View Composer でリンク クローン デスクトップ プールを作成するために使用します。
読み取り専用プールの場合、プールを作成するために新しいスナップショットを使用します。通常のプールの場合は、プール内のすべての仮想マシンを再構成するために新しいスナップショットを使用します。
スナップショットの作成手順については、vSphere Client のオンライン ヘルプを参照してください。
- 6 (オプション) フル クローン デスクトップを使用する場合は、各仮想マシン上で VMware Tools と仮想ハードウェアをバージョン 7 にアップグレードします。
vSphere Update Manager を使用すると、特定のフォルダ内にあるすべての仮想マシンで、VMware Tools の次に仮想マシンのハードウェアバージョンという正しい順序でアップデートを実行できます。『vSphere アップグレード ガイド』を参照してください。
- 7 フル クローン デスクトップを使用する場合は、ソフトウェアのアップグレードに通常使用している任意の他社製ツールを使用して、View Agent をアップグレードしてください。
仮想マシンが Windows XP Professional SP 2 または 3、あるいは Windows Vista SP 1 または 2 を実行しており、VMware PCoIP 表示プロトコルを使用する場合、View Agent インストーラを実行するときにそのコンポーネントを選択します。

- 8 Windows Terminal Server、物理 PC、またはブレード PC をデスクトップ ソースとして使用する場合は、その物理マシン上で View Agent 4 のインストーラをダウンロードして実行します。
インストーラは VMware の Web サイトからダウンロードできます。
- 9 View 3.x クライアントを使用して、アップグレード済みの View 4 デスクトップ ソースに View 3.x クライアントソフトウェアでログインできることを確認します。

次に進む前に

View Composer デスクトップ プールと View Client をアップグレードします。[[View Composer デスクトッププールのアップグレード \(P. 25\)](#)] を参照してください。

View Composer デスクトッププールのアップグレード

VMware View のアップグレードの最終段階には、その一環として View Composer デスクトッププールのアップグレードが含まれます。

開始する前に

- [[View Composer および VirtualCenter のアップグレード \(P. 21\)](#)] で説明した手順を実行します。
- [[ESX ホスト、仮想マシン、および View Agent のアップグレード \(P. 23\)](#)] で説明した手順を実行します。
- インストーラを実行してアップグレードを行うために使用するホスト上に管理者権限のあるドメイン ユーザー アカウントを持っていることを確認します。
- View Composer を使用する場合は、デスクトッププールの再作成および再構成によって ESX ホストのストレージアレイが埋め尽くされないように、保守期間を慎重に計画してください。

手順

- 1 VMware PCoIP 表示プロトコルを使用する場合は、PCoIP を使用するようにデスクトッププール設定を変更します。
- 2 親仮想マシンのアップグレード後に作成したスナップショットを使用して、デスクトッププールを再作成または再構築します。

プールタイプ	アクション
読み取り専用プール	プールから View 3.x 仮想デスクトップを削除して、デスクトッププールを再作成します。
通常のプール	デスクトッププールを再構成します。

- 3 アップグレードの準備作業で新規仮想マシンのプロビジョニングを無効にした場合は、再度プロビジョニングを有効にします。
- 4 アップグレードの準備作業でプールの [Refresh OS disk on logoff (ログオフ時に OS ディスクを更新)] 設定を [Never (更新しない)] に変更した場合は、使用する更新ポリシーに合わせて設定を元に戻します。
- 5 いずれかのデスクトッププールについて更新または再構成の操作をキャンセルした場合は、再度作業をスケジュールします。

次に進む前に

ネイティブの Windows、View Portal、およびシンクライアントを含め、View Client をアップグレードします。[[View Client のアップグレード \(P. 26\)](#)] を参照してください。

View Client のアップグレード

VMware View のアップグレードの最終段階では、View Client をアップグレードし、シンクライアント デバイスを使用する場合にそのファームウェアをアップグレードする作業を実行します。

開始する前に

- 「[レプリカ グループ内の View Connection Server のアップグレード \(P. 19\)](#)」で説明した手順を実行します。
- 「[ESX ホスト、仮想マシン、および View Agent のアップグレード \(P. 23\)](#)」で説明した手順を実行します。
- インストーラを実行してアップグレードを行うために使用するホスト上に管理者権限のあるドメイン ユーザー アカウントを持っていることを確認します。
- 「[View Composer デスクトップ プールのアップグレード \(P. 25\)](#)」で説明した手順を実行します。
- サポートされているオペレーティングシステムがクライアントシステムで実行されていることを確認します。PCoIP 表示プロトコルを使用する予定の場合は、クライアントが追加ハードウェア要件を満たしていることを確認します。「[View Client の要件 \(P. 13\)](#)」を参照してください。

手順

- 1 VMware PCoIP 表示プロトコルを使用する場合は、View Administrator にログインし、PCoIP を使用するようデスクトップ プール設定を変更します。
- 2 View Client をアップグレードします。

クライアントタイプ	アクション
ネイティブ クライアント	View 4 Client をダウンロードしてエンド ユーザーに送信するか、Web サイトに掲示した後、インストーラをダウンロードして実行するようにエンド ユーザーに依頼します。
View Portal	エンド ユーザーが次回 View Portal に接続したとき、新しいクライアント インストーラをダウンロードして実行するように要求されることを通知します。
シンクライアント	シンクライアントのファームウェアをアップグレードし、エンド ユーザーのクライアント デバイスに新しい View Client をインストールします。

ネイティブクライアントおよびシンクライアントの場合は、View Client のインストーラを VMware の Web サイトからダウンロードできます。

- 3 エンド ユーザーが各自の View デスクトップにログインおよび接続できることを確認してもらってください。

これで、View 4 の展開のアップグレード処理が完了しました。

vSphere コンポーネントの個別のアップグレード

5

View コンポーネントとは別に vSphere コンポーネントを個別にアップグレードする場合、一部の View データをバックアップし、一部の View ソフトウェアを再インストールする必要があります。

VMware View コンポーネントと vSphere コンポーネントの統合アップグレードを実行する代わりに、最初にすべての View コンポーネントをアップグレードしてから vSphere コンポーネントをアップグレードしたり、その逆の順序でアップグレードすることができます。vSphere の新しいバージョンまたはアップデートがリリースされたときに、vSphere コンポーネントのみをアップグレードすることもできます。

View コンポーネントとは別に vSphere コンポーネントをアップグレードする場合、『vSphere アップグレード ガイド』の手順に従う以外に、次の作業を実行する必要があります。

- 1 vCenter Server をアップグレードする前に、VirtualCenter データベースと View Composer データベースをバックアップします。
- 2 vCenter Server をアップグレードする前に、`vdmexport.exe` ユーティリティを使用して、View Connection Server インスタンスから View LDAP データベースをバックアップします。
手順については、『View Manager 管理ガイド』を参照してください。レプリカ グループ内に View Connection Server インスタンスが複数存在する場合は、1 つのインスタンスからデータをエクスポートするだけでかまいません。
- 3 View デスクトップとして使用している仮想マシンで VMware Tools をアップグレードした後、View Agent を再インストールします。

View Agent を再インストールすることにより、仮想マシン内のドライバと他の View コンポーネントとの互換性が保たれます。

重要 vCenter Server は 64 ビット オペレーティング システムでサポートされますが、View Composer はサポートされません。View Composer は、Windows Server 2003 Service Pack 2 または Windows XP Professional Service Pack 2 の 32 ビット バージョンでサポートされます。

インデックス

A

Active Directory、サポートされるバージョン 10

E

ESX ホストのアップグレード手順 23

F

Firefox、サポートされるバージョン 12

G

GPO テンプレート 19

I

Internet Explorer、サポートされるバージョン 12

L

LDAP 15

LDAP のアップグレード 19

M

Microsoft SQL Server データベース 11

O

Oracle データベース 11

R

RSA Authentication Manager 10

S

SQL Server データベース 11

SSL 証明書のバックアップ 16

V

vCenter Server、アップグレードの準備作業 27

vCenter Server、アップグレードの準備作業 15, 16

vdmexport.exe ユーティリティ 15, 19

View Administrator、要件 12

View Agent、インストール要件 13

View Agent のアップグレード手順 23, 27

View Client、サポートされるオペレーティングシステム 13

View Client with Offline Desktop 13

View Client のアップグレード手順 26

View Composer

アップグレード手順 21

インストール要件 11

説明 11

データベース要件 11

View Composer、アップグレードの準備作業 15, 16

View Composer の vSphere モード 23

View Composer のポート変更 21

View Connection Server

アップグレード手順 19

アップグレード要件 10

サポートされるオペレーティングシステム 10

追加ソフトウェアの要件 10

ハードウェア要件 9

目的 9

View Connection Server、アップグレードの準備作業 15

View LDAP 15

View LDAP のアップグレード 19

View Portal 26

View コンポーネントの互換性マトリックス 7

VirtualCenter のアップグレード手順 21

VMotion 23

VMware Tools のアップグレード手順 23, 27

VMware View アップグレードのシステム要件 9

VMwareVDMDS サービス 19

vSphere、必要なバージョン 10

vSphere Update Manager 23

vSphere コンポーネント、個別のアップグレード 27

W

Web ブラウザの要件 12

Windows Terminal Server 23

か

下位互換性 7

仮想ハードウェアのアップグレード手順 23

仮想マシンのアップグレード手順 23

く

クラスタのアップグレード 23

さ

サービス

VMware View Connection Server 19

VMwareVDMDS 19

し

- 上位互換性 7
- シンクライアント 26
- シンクライアントのファームウェアアップグレード 26

つ

- 通常のデスクトップ プール 25

て

- データベースの互換性 16
- データベースのバックアップ 16
- デスクトップ プールのアップグレード手順 25

ふ

- 物理 PC 23

- ブラウザの要件 12

- ブレード PC 23

ほ

- 保守期間 19

よ

- 読み取り専用デスクトップ プール 25

り

- リンク クローン デスクトップ プール 23

ろ

- ロード バランサ 15